

会 議 録

会 議 の 名 称		令和8年度 第1回行田市公民館運営審議会	
開 催 日 時		令和8年7月15日(水) 開会：午前10時00分 閉会：午前11時00分	
開 催 場 所		行田市中央公民館 2階 第1学習室	
出 席 者 (委 員) 氏 名		・石崎昌稔 ・鈴木トミ江 ・長岡幸雄 ・鈴木政昭 ・柳原祐子 ・小巻正夫 ・中村賢一 ・竹井 誠 ・加藤誠一 ・森下容子 ・海老島明美 ・秋山玉江・清水俊郎 ・小林秀樹 ・中丸歩未 ・坂本邦孝 ・平井直美 ・長嶋道枝	
欠 席 者 (委員) 氏 名		・青池英洋 ・山内正好 ・大澤広寿 ・吉野 修	
議 長		・小巻委員長	
事 務 局		・長島部長 ・蓮沼館長 ・風間副館長 ・榎本主査	
会 議 内 容		議案第1号 各種団体等への委員推薦について 報告第1号 令和7年度各公民館事業報告について 議案第2号 令和8年度各公民館事業計画について そ の 他 突発的な事案に対する審議会の開催方法について	
会 議 資 料		・令和8年度第1回行田市公民館運営審議会次第 ・各種団体等への委員推薦について ・令和7年度 公民館事業報告書 ・令和8年度 公民館事業計画書 ・参考資料1 令和6・7年度各公民館実施事業対比表(事業回数) ・参考資料2 令和6・7年度各公民館事業実施結果対比表(参加者数) ・行田市公民館運営審議会委員名簿	
そ の 他 必 要 事 項		傍聴人 1人	
会議録の確定	確 定 年 月 日	主 宰 者 署 名	
	令和8年7月28日	小巻正夫	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会、資料の確認 市民憲章の唱和
	2 委嘱状交付 代表受領とする。代表者以外は、机上配布にて委嘱状の交付とする。
生涯学習部長	3 あいさつ
各委員 事務局	4 自己紹介 出席委員自己紹介 事務局自己紹介 (生涯学習部長 退席)
事務局	5 正・副委員長の互選について 互選により、小巻委員を委員長、坂本委員を副委員長に選任することを全委員が承認。 (小巻委員長 坂本副委員長 席移動)
小巻委員長	あいさつ
坂本副委員長	あいさつ
事務局	6 議事 次に、議事に移るが、行田市公民館運営審議会条例第4条第2項に基づき、小巻委員長に議長をお願いする。
小巻議長	それでは、暫時議長を務めさせていただく。皆様には円滑な議事進行にご協力をお願いする。本日の会議は公開となっているので、傍聴人がいるならば入室していただくので、事務局に確認をお願いする。
事務局	(傍聴人 1名 入室)
小巻議長	では、議事に入らせていただく。はじめに議案第1号「各種団体等へ

	の委員推薦について」事務局に説明を求める。
事務局	(議案第1号について資料をもとに事務局より説明)
小巻議長	事務局の説明が終わった。 議案第1号「各種団体等への委員推薦について」は、「NPO法人子育てネット行田」選出の平井直美氏を委員とさせていただくことでよいのか。
委員	異議なし
小巻議長	議案第1号「各種団体等への委員推薦について」は、「NPO法人子育てネット行田」選出の平井直美氏を委員とさせていただく。 続いて、報告第1号「令和7年度各公民館事業報告について」事務局に説明を求める。
事務局	(報告第1号について資料をもとに事務局より説明)
小巻議長	事務局の説明が終わった。何か質問等はあるか。 特に質問が無いようなので、続いて、議案第2号「令和8年度各公民館事業計画について」事務局に説明を求める。
事務局	(議案第2号について資料をもとに事務局より説明)
小巻議長	事務局の説明が終わった。何か質問等はあるか。
中村委員	北河原公民館は女性学級を実施しているが、今後の計画にも男女の区別は必要か。
小巻議長	事務局に答弁を求める。
事務局	時代の流れとして、男女を明確に区別することが難しい社会情勢となっている。令和8年度事業計画において女性学級を計画している館はない。今後は、性別によらず参加できる「成人学級」に事業を統一する方向で検討を進めていく。

小巻議長	他に何か質問等はあるか。
中村委員	少年少女学級についても、少年期全体を示す括りとして、少年学級としたほうが一般的ではないか。
海老島委員	下忍公民館は、数年前から少年少女の区別をなくし、キッズクラブとしている。
事務局	貴重な意見として参考にさせていただく。
小巻議長	他に質問等はあるか。
鈴木委員	持田公民館では、利用者の平均年齢が年々上がっている。若い方にも参加していただきたいという思いから、さまざまな企画を検討しているが、事務局としてはどのように考えているか。
小巻議長	事務局に答弁を求める。
事務局	数年前から若年層の利用促進を計画しており、各地域公民館へは、若年層を対象とした事業や多世代交流事業の実施について周知している。地域公民館からは、なかなか人が集まらないといった意見をいただいているが、中央公民館としても若年層向け事業や多世代交流事業を実施している。こうした事業を参考にさせていただくとともに、各地域公民館からの意見を伺いながら対応していきたい。
清水委員	地域文化センターでは、多世代交流事業として、毎年しめ縄づくりを実施している。「父子」または「祖父母と子ども」で行っているが、子どもの参加が少ない。また、一番の働き盛りである中年層については、定年がどんどん上がり、七十歳を過ぎてから、我々の後継者としての仕事をお願いするのは難しい面があり、これも大きな課題である。
鈴木委員	持田公民館では、育成会の方々に「夏祭り」の実施をお願いしているが、大変好評をいただき、当日は1日に400人を超える来館者があった。公民館としても育成会としても、このような企画を今後も継続して検討していきたいと考えている。

事務局	貴重な意見をいただきありがたい。各地域公民館と共有する。
小巻議長	他に何か質問等はあるか。
海老島委員	下忍公民館ではクラブ員の高齢化でクラブ数が減少しているが、他の公民館はどうか。
事務局	参考として、今年度の全公民館のクラブ数は247クラブ、昨年度は244クラブであり全体としては増加している。なお、20年前の平成26年度は356クラブであった。
小巻議長	他に何か質問等はあるか。 無いようなので、議案第2号「令和8年度各公民館事業計画について」は、すでに事業に着手しているものもございますので、承認とさせていただきます。 以上で本日の議事は終了とさせていただく。委員の皆様の慎重審議に感謝申し上げ、議長の職を降ろさせていただきます。
事務局	「その他」について、事務局から連絡事項をお伝えする。 審議会の開催方法について、本日、承認いただいた事項について、突発的な事案が発生し、委員皆様の意見を伺う必要があるときは、委員長、副委員長の了承のもと審議会を開催する。開催する場合は、書面評決を考えている。
坂本副委員長	7 閉会 閉会のことば

